

事業所における 自己評価結果（公表）

公表：令和 6 年 2 月 1 日

事業所名 コペルプラス 立川教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		・運動療育を実施する順番を調整し、伸び伸びと体を動かせるよう配慮している。	・怪我なく療育を行えるよう環境調整をしていく。
	② 職員の配置数は適切である	7			・事務室内の職員数も、考慮し配置を行っていく。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7		・フラットな室内で死角も少なく、バリアフリーで安全な空間である。 ・見学ルームは、保護者様がゆっくり見学できる環境になっている。	
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7		・常に整理整頓を心がけている。 ・毎日掃除を行い、清潔を保つようにしている。又、大掃除を年 2 回実施している。	・引き続き、清潔にできるよう心がけていく。 ・感染症予防として、消毒、換気を行っていく。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7		・カンファレンスやミーティングにて、職員間の話し合いの場を多く設けている。	・職員全員で今後も業務改善を目指していく。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		・回答しやすいよう LINE での周知や、教室内にて方法とともに案内を提示をした。	

					・実施後、職員全員で改善に向け、話し合いを実施している。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7		・ホームページに掲載している。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		7		第三者評価実施なし
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	1	・希望に合わせて研修を受講できる体制ができている。	・より研修の機会を設け、ご利用者様にあった支援を継続できるよう努めていく。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7		・職員間で情報の共有を行い、日々の様子や成長に合わせた支援計画の作成を心がけている。 ・アセスメント後、カンファレンスを行い、支援計画・支援方法を共有した上で療育を開始している。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7			
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7			
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7		・個別支援課題を取り入れ、療育を行っている。	・

					・カンファレンスを実施し、お子様の成長に合った支援を行っている。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	7		・集団療育では、担当職員全員で話し合いを必須としている。 ・支援内容等、職員間で話し合いを行い立案している。	・よりお子様にあった支援を出来るよう、研修等も積極的に参加していく。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		・お子様の成長や様子にあわせた支援ができるよう教材や提示方法を工夫している。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	7			
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		・朝礼時、1日の流れを確認している。 ・共有事項がある際は、都度周知している。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		・終礼時、口頭での引継ぎを行っている。 ・個別のファイルにて記録を保管し、引き継ぎ・情報共有を行っている。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		・都度職員間で話し合い、次の療育で改善している。 ・記録漏れのないよう心がけている。	

	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7		・半年に1度モニタリングを実施し、支援計画の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	1		
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6	1		・保育園や幼稚園、支援センターなどと情報共有や相談、報告を行い、適切な支援が行えるよう努めていく。
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	—	—		対象児童なし
	㉔	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	—	—		対象児童なし
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7		・ご希望のある利用者様は、ノートにて情報共有を行っている。	・保護者様へ関係機関連携の支援があることを周知していくことで、より良い支援を目指していく。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	1	・就学支援シートを活用して情報共有を行っている。	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	1		
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	5	2		・交流や活動の機会を設けられるよう職員間で検討していく。

	㉙	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5	2		
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		・フィードバックや面談でお話した内容	

					を職員間で共有している。 ・疑問点や不明点がある際は、職員間で話し合い、保護者様に伝えている。	
	③①	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	7		・希望者に対して、個別にてペアレントトレーニングを行っている。	・グループでの開催を目指し、準備を進めていく。
保護者への説明責任等	③②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		・契約時に説明を行っている。	
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7			
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		・希望があった際に、事業所内相談支援を実施し、支援に反映させている。	
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	4		・保護者同士の交流が出来る場を提供できるよう努めていく。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7		・希望があった際に、事業所内相談支援を実施し、支援に反映させている。	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7		・Instagram を開設し、月 3 回様々な情報を発信している。	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	7			

	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	4		・感染症の状況を見ながら、検討していく。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7		・避難訓練を年2回実施している。今後、定期的に利用者様参加型の実施を予定している。 ・感染症予防として、来室時には、検温、手洗い、うがいを促し、療育開始時には手指消毒を行っている。	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		・毎年、避難経路の確認を行っている。	・起こりうる状況を全て予測し、備えていく。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7		・契約時に既往歴の確認、定期面談時に服薬の確認を行っている。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	1	・イベントの時などは、個別に対応している。	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		・都度回覧で共有している。 ・月末に事業本部に報告している。	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		・外部研修に参加している。 ・事業所内研修を実施している。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事	7		・契約時に説明し、同意書を提出頂いている。	

		前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している				
--	--	---------------------------------	--	--	--	--

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。